

教員支援専門職の 必要性と現状語る



SCから専門職の必要性を語る河村市長＝刈谷市の愛知教育大で

刈谷で名古屋市長講義

名古屋市の河村たかに市長らによる特別講義が九日、刈谷市の愛知教育大であり、スクールカウンセラー（SC）などを志す学生らに名古屋市の取り組みを紹介した。

SCや教育事務職員など教員を支援する専門職を育成するため

河村市長は日米間のSCに関する認識の違いについて「日本では非常勤で教員の方が立場が上。アメリカでは対等だった」と紹介。学校にも教員とは異なる立場から子どもたちを見る専門職の重要性を感じたという。

名古屋市委の高原晋一主席指導主事も英米の学校では教員以外の専門スタッフの割合が多いことを指摘し、「日本でもいろんな考え方の人が学校に入ってきた方がよい。まだ日本では取り組みが始まったばかり」と話した。

(土屋晴康)